

総務企画委員会行政視察報告書

1. 実施日 平成 30 年 10 月 29 日（月）～ 30 日（火）
2. 視察地 1) 鹿児島県鹿児島市（10 月 29 日）
2) 鹿児島県指宿市（10 月 30 日）
3. 視察項目 1) 鹿児島市
○ドラマプロジェクト推進事業について
○広域連携による共同プロモーションについて
○西郷どん大河ドラマ館について
2) 指宿市
○大河ドラマ放映に関する取り組みや予算について
○いぶすき西郷どん館について
4. 出席者 委員長 中村 悟
副委員長 出口 忠雄
委員 可児 慶志 山根 一男 野呂 和久
澤野 伸 高木 将延

5. 視察結果報告（鹿児島市）

（1）視察地の概要

鹿児島市 人口 596,319 人
予算 250,986,000 千円（平成 30 年当初予算）
県庁所在地 明治 22 年市制施行

（2）視察の目的

2020 年 NHK 大河ドラマ「麒麟がくる」の放送が決定され、本市ゆかりの武将明智光秀を主演としてその生涯が描かれることとなった。

これを絶好の機会と捉え、観光事業の大きな起爆剤とするため、更には可児のまちづくりにどう生かしていくかを、現在放映中の「西郷どん」の地元鹿児島市及び指宿市を訪問し、その取り組みについて視察する。

（3）視察の内容

明治維新 150 周年事業として 7 年前から各種事業を実施していた。平成 28 年 9 月 NHK 大河ドラマ「西郷どん」放送決定後、大河ドラマ「西郷どん」推進協議会を設置、大河ドラマ「西郷どん」プロジェクト推進事業を展開している。

1) 明治維新 150 年カウントダウン事業

平成 30 年に明治維新から 150 周年という大きな節目を迎える。

観光振興をはじめ、地域経済の活性化を図るため第 5 次鹿児島市総合計画の目玉として実施。平成 30 年に向け 7 年前の平成 24 年から鹿児島に関わりの深い出来事を題材とするイベントを開催



ア. 事業の目的

- 市民の郷土「鹿児島」への誇りと愛着の醸成
- 次代を担う青少年の育成
- 観光振興をはじめとする地域経済の活性化

イ. 主な広報・PR活動

- ① 薩摩観光維新隊・西郷どん（マスコット）
- ② ラッピングバス・ラッピング電車の運行
- ③ 明治維新 150 周年・大河ドラマ「西郷どん」に係る修景事業

- ④ ホームページ・SNS の運営
- ⑤ 映像制作、メディア等活用宣伝事業
- ⑥ 本物の旅かごしま誘客拡大キャンペーン事業
- ⑦ ロゴマークの活用

2) 大河ドラマ「西郷どん」プロジェクト推進事業

大河ドラマ「西郷どん」推進協議会を設置し、大河ドラマ館の設置運営、広報宣伝等を行うことにより、本市の観光振興を図る。

ア. 大河ドラマ「西郷どん」推進協議会

顧問	鹿児島市長
会長	鹿児島市副市長
委員	各種団体
事務局	鹿児島市観光交流局 明治維新 150 年・西郷どん」推進室
放送期間	平成 30 年 1 月 7 日～12 月 16 日

イ. 実施事業

① 大河ドラマ館の設置

名称	西郷どん大河ドラマ館
場所	鹿児島市鍛冶屋町 20-1（市立病院跡地）
設置期間	平成 30 年 1 月 13 日～平成 31 年 1 月 14 日（367 日間）
設置内容	ドラマ館 床面積約 1,300 m ² 展示室、チケットブース、特産品等販売所、トイレ、事務所 駐車場 一般車 200 台、大型バス 18 台収容、駐輪場
その他敷地面積	イベント広場（ステージ設置）、あそび広場 約 13,000 m ²

②大河ドラマ館の運営

開館 9:00～17:00 年中無休

入場料 大人 600 円 小人 300 円

団体 (20 人以上) 大人 480 円 小人 240 円

入場目標 50 万人

③広報宣伝等

観光施設や関係団体等と連携して滞在型観光の振興を図る。

- ・相互割引の実施
- ・カゴシマシティビューのルート変更
- ・臨時観光案内所の設置
- ・大河ドラマ館発着のまち歩きコースの新設

(4) 質疑応答

Q 1 大河ドラマに関する予算は？経済効果は？

A 大河ドラマ「西郷どん」鹿児島市推進協議会への負担金

鹿児島市 139,000 千円

鹿児島県 50,000 千円

入場料 250,000 千円

その他 31,000 千円

合計 470,000 千円

A 経済効果は、市での詳しい算出は行っていないが、各種発表において 307 億或いは 328 億と言われている。



Q 2 大河ドラマ決定にあたり、NHKに
対しアプローチをしたのか？

A 強力な推進者があり平成 22 年から誘致活動を実施していた。

Q 3 ロケ地情報の提供やエキストラの準備などの対応は

A 県が窓口で情報提供があった。ドラマ館設置等が決定すれば随時情報が入ってくるようになる。

Q 4 ゆかりの地との連携はどのように行われたか？

A 17 の市内巡回コースを設定した。これは前回の「篤姫」の時から進めていた。

Q 5 放映開始までに企画展などどのような地域の盛り上げ策を行ったか？

A もともと明治維新 150 周年事業で実施していた。

Q 6 ドラマ館の建設の経緯は。その費用は？

A 「篤姫」のときは既存施設を利用しドラマ館を設置したが、たいへん利益が出た。今回は経験をもとに本格的な物を設置することになった。たまたま市立病院建替え用地があり建替えを遅らせて用地とした。



Q 7 ドラマ館の入館者数は？

A 10月21日で40万人を超えた。予定より少ない。

Q 8 ドラマ館のホームページはいつ頃から作成したか？

A 明治維新150周年のホームページに追加した。

Q 9 「維新ふるさと館」と2館作った経緯は？

A 「維新ふるさと館」は、平成6年設立した市の常設展示場。史実にもとづいた展示をしており、ドラマをPRするドラマ館とはコンセプトが違う。

Q10 ドラマ館の展示内容について？

A NHKエンタープライズが企画する。ドラマの進行に合わせた物や企画についてお任せ状態だった。もっと早くからリクエストすればよかったと反省。

Q11 現地ガイドはどのように集め、育成されたのか？

A 過去2回の大河ドラマと明治維新150周年事業の関係から既存のボランティアが充実していた。

(5) 考察(まとめ)

人口約60万人、予算規模約2,500億円、職員数5,600人の都市であり、過去2度大河ドラマ(「翔ぶが如く」・「篤姫」)を経験しているなど事前の取り組みに余裕を感じた。また、ドラマ館や維新館の展示物の豊富さにも余裕の裏付けを感じた。

明治維新150周年事業が7年も前(平成24年度)から実施されており、市の持つ歴史的財産を有効にまちづくりに生かしていこうとする姿勢を強く感じた。

地元鹿児島実業高校の動画「維新 Dancin 鹿児島市」などたいへん面白く、SNS、Youtube等のメディアを活用した宣伝も大いに参考とすべきだろう。また、高校生など市民参加についても検討が必要だろう。

可見市でもドラマ館を設置するようだが、明智光秀に係る資料が多くあるとは思えず、県全体での盛上げが必要と考えられる。

視聴率が20%を超すか否かが来客数に大きく影響するとのことだが、予算をどのように組むのか難しい。山城サミット等各種イベントを重ねた計画づくりに早急に取り組む必要があると思う。また、ドラマ放送後の観光事業のことを考え、歴史的資料集めや施設整備等この1年は必死の取り組みを期待する。

6. 視察結果報告（指宿市）

（1）視察地の概要

指宿市 人口 約 42,000 人

（2）視察の目的

鹿児島市同意

（3）視察の内容

指宿市と西郷隆盛とゆかりは、鰻温泉に犬 13 匹と 1 ヶ月ほど滞在し、着ていたシャツをお礼において行ったこと。2 度の奄美群島への出港の際滞在した山川港や、ゆかりの人物「篤姫」との深いつながりがある。

平成 28 年 9 月、「西郷どん」放送決定後、時間がないながらも体制づくりをした。



「西郷どん」受入体制の概要

1) いぶすき西郷どん実行委員会

会 長 指宿市長

副 会 長 指宿市観光協会長

委 員 諸団体

事務局長 指宿市産業振興部観光課長

設 立 平成 28 年 8 月 3 日

主な事業 ■いぶすき西郷どん館の設置・運営

■ゆかりの地巡りバス「SEGO BUS」の運行委託

■鰻温泉まち歩きガイドの育成・運営

事 業

①指宿市観光課

- ・鰻集落のバス転回場・駐車場の整備
- ・鰻集落内「スメ広場」・犬 13 匹のサイン整備
- ・鰻集落内市道、散策道の整備
- ・仮設トイレの設置

②指宿市社会教育課

- ・特別企画展の企画・運営
- ・学びのふるさと講座の実施

③指宿市観光協会

- ・いぶすき西郷どんガイドの運営



予 算

歳 入	109,534 千円	歳 出	109,534 千円
負担金	59,400 千円	西郷どん館	76,782 千円
(内訳)		(内訳)	
指宿市	44,500 千円	NHKエンタープライズ委託金	
県	10,800 千円		26,600 千円
その他	4,100 千円	事務経費・手数料等	
事業収入	50,134 千円		17,340 千円
		臨時職員人件費	
			10,720 千円
		その他	22,122 千円
		その他事業経費	32,752 千円

2) いぶすき西郷どん館

- 1階 大河ドラマのストーリーや出演者等の紹介などドラマも内容を主とした展示
 2階 西郷や篤姫ゆかりの貴重な実物資料を豊富に展示

場 所	時遊館COCCOはしむれ内
設置期間	平成30年1月12日～平成31年1月14日
入 場 料	個人 大人500円 小人300円 団体 大人400円 小人200円
開館時間	9:00 から 17:00 年中無休
運 営	①いぶすき西郷どん実行委員会 ・市職員4名 館全体の統括、PR等 ②社会教育課 ・市職員6名 施設の管理 ・市臨時職員4名 2F特別企画展、常設展示室の接客対応
入場目標	10万人
入館者数	45,635人(9月30日現在)

(4) 質疑応答

- Q1 大河ドラマ決定にあたりNHKに対して何らかのアプローチをしたか？
 A 放映決定を受け、NHKエンタープライズ社に対し、ドラマ館設置を検討している旨アプローチした。
- Q2 ロケ地情報の提供やエキストラの準備などの対応は？
 A 県観光課から撮影候補地やゆかりの地の照会があった。ロケハンが来たが「篤姫」ゆかりの地の視察だった。本地でのロケはなかったためエキストラの準備はない。

Q 3 ゆかりの地との連携について

A 鰻温泉にて、観光客受け入れ体制の整備として道路舗装・改良、スメ広場の整備、駐車場の整備等を実施。ソフト事業としてまちあるきガイドの育成を行い、委託事業として年間を通して実施している。いぶすき西郷館開館中、臨時周遊バス「SEGO BUS」を運行している。

Q 4 放映開始までに企画展など地域の盛り上げ策を行ったか

A 2階特別企画展は、平成 29 年 10 月 17 日から先行してオープンしている。ボランティアガイドの育成を行い西郷どんガイドとして鰻温泉のまち歩き事業を開始した。

Q 5 ドラマ館は、どのような経緯で実現に結びつけたか。その費用は。

A 郷土の歴史や魅力を、市民や市内外の観光客等に広く発信することを目的にその拠点として「いぶすき西郷どん館」の設置を決定した。
費用は、設置・施行のみで 21,600 千円

Q 6 ドラマ館のホームページ作成はいつ頃から着手したか。

A 契約平成 29 年 10 月 6 日、完成検査平成 29 年 11 月 9 日で費用は 643,680 円

(5) 考察 (まとめ)

西郷隆盛との直接的な繋がりがなく、鹿児島市との規模の違いもあり活気の面では若干寂しい感じがした。しかし、大河ドラマを利用して市の観光事業、まちづくりを進めようとする意気込みが感じられた。

本市においても、明智光秀の歴史的資料に質・量ともに不安があり、予算的にもどこまで投入できるのか難しい問題である。

